

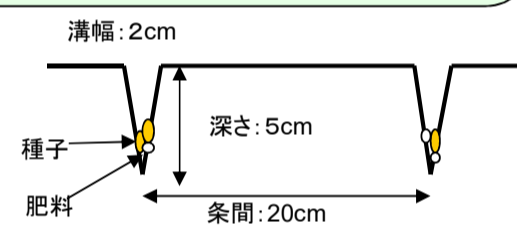
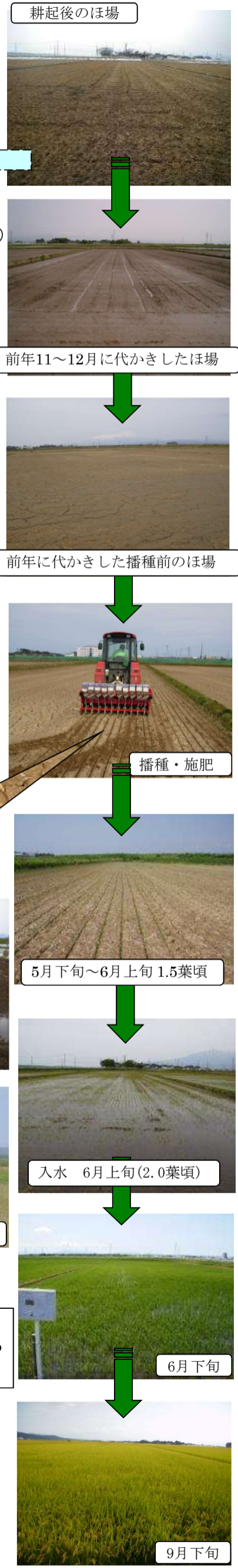
# 乾田V溝直播栽培ごよみ

(品種: はえぬき、ひとめぼれ)

作成: JA庄内みどり

協力: 酒田農業技術普及課

時期	作業名	ポイント
10月	排水対策 明渠 排水溝 弾丸暗渠 (サブソイラー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ほ場の選定: <b>漏生苗</b>が発生しやすいので、乾田V溝直播栽培を行うほ場は、<b>前作と同じ品種</b>で行う。</li> <li>★<b>排水対策</b>は十分に進行。排水不良ほ場では<b>出芽不良</b>となる。</li> </ul>
11月	土づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>排水対策</b> ◎ほ場の周囲に明渠 ◎サブソイラーにより、暗渠の排水効果を高める。 ◎団地化</li> <li>★<b>リン酸・カリの補給</b> ◎専用肥料は窒素のみのため、リン酸・カリが不足している場合には耕起前に施用する。 【目安】 ようりん・けい酸加里 各30kg/10a</li> </ul>
12月	耕起	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>耕起</b>: 移植栽培と同様に行う。前作の残さをチェックし、多い場合には、「代かき」時に稲わらなどの残さが浮き上がらないよう注意。</li> </ul>
12月	代かき	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>代かき</b>: 出来るだけ浅水で、稲わらがほ場の隅に吹き寄せられないように注意する。また、トラクターのわだちが残らないように丁寧に行う。(塩化カリ20kg/10a を入水直前に施用することにより、代かき時の「泥水」軽減を図ることが出来る。)</li> <li>★<b>代かきしない場合</b>: 冬季の耕起後(又は春先)に駆動式鎮圧機で鎮圧する。</li> </ul>
3月	(鎮圧)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>漏水対策</b>...除草剤の効果や隣接ほ場への影響を考慮し、必ず行う。◎畦畔補修(畦塗り)又は◎畦畔ビニール(春・融雪直後)</li> </ul>
3月	種子消毒	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>種子の準備</b>: 種子消毒は、チウラムを含む薬剤(「ベンレートT水和剤20」(湿粉衣)又は「キヒゲンR-2フロアブル」(塗沫処理)等)で行う。(浸種・催芽は不要) ※カルパーコーティングは不要!</li> </ul>
4月	播種・施肥(同時) (4月上~下旬)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>播種</b>: 4月上旬~4月末に、天候、ほ場の乾燥状態(かかと立ちで足跡がつかない程度)を見ながら播種する。 ポイント: <b>播種・施肥は重ならないように注意する!</b></li> <li>★<b>播種量</b> ①4月上旬~下旬は種: 7~8kg/10a ⇒1~2年取り組んで、苗立ちが十分確保できる場合は播種量を1~2kg/10a程度減らす。 ②5月上旬: 6kg/10a</li> </ul>
4月	下	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>肥料</b>: 専用一発肥料(セラコートR V溝直播(41-0-0)) ※リン酸・カリは冬季の耕起前に補給しておく。</li> <li>★<b>施用量</b>: <b>はえぬき 20kg/10a (N:P:K=8.2:0:0)</b> <b>ひとめぼれ 15kg/10a (N:P:K=6.2:0:0)</b></li> </ul>
5月	除草剤散布 (1回目: 4月25~5月5日頃) ※周辺ほ場移植前	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>除草剤(1回目)</b>: イネの<b>出芽前</b>に“直播水稻”に登録のあるグリホサート剤(「ラウンドアップマックスロード」又は「草枯らしMIC」等)を散布する。※飼料用米の場合は、「草枯らしMIC」を使用する。 <b>周辺作物へ絶対に飛散させない!</b></li> <li>★<b>無覆土状態で極端な乾燥状態が続く場合は、一時的に灌水(フラッシング)を行う。</b></li> </ul>
5月	灌水(フラッシング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>イネの生育</b> 出芽</li> </ul>
5月	上	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>除草剤(2回目)</b>: イネ1.5葉期の入水前にシハロホップブチル(ベンタゾン) 剤(「クリンチャーバスME液剤」又は「クリンチャーEW」)を散布。 <b>重要!</b> ①散布時期: 登録でノビエ5葉までの散布となり、遅れずに散布する。 ②除草剤を散布してから(ノビエを抜いて枯れかかっていること確認)5日後を目安に入水する。</li> </ul>
6月	入水	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>除草剤(3回目)</b>: 入水3~5日後を目安に、湛水状態が安定してから除草剤(“直播水稻”に登録のある一発除草剤)を散布する。除草剤の効果を確認するため、漏水対策(畦補修等)はしっかり行っておく。</li> </ul>
6月	上	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>水管理</b>: 常時深水湛水。 ・作溝、中干しは不要。 ・深水により、ヒエ等の雑草の発生を抑制。</li> <li>★<b>病害虫防除</b>: 通常の防除と同じ。 ※播種・施肥の重複部分の「いもち病」や「イネツトムシ」等の害虫の発生に注意!</li> </ul>
6月	下	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>出穂</b>は、移植栽培に比べ7~10日遅くなる。(出穂期(はえぬき・ひとめぼれ): 8月15~20日頃)</li> </ul>
7月	水管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>出穂</b> 6月30日 草丈 39cm 茎数 670本/m<sup>2</sup> 葉色 41</li> </ul>
7月	病害虫防除 (追肥・穂肥不要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>落水</b>は、移植栽培に比べ7~10日遅くなる。(落水期(はえぬき・ひとめぼれ): 9月15~20日頃)</li> </ul>
8月	病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>落水</b> 穂数: 570本/m<sup>2</sup> 葉数: 13枚 穂揃い期 葉色: 35以下</li> </ul>
9月	落水	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>落水</b> 落水は、移植栽培に比べ7~10日遅くなる。(落水期(はえぬき・ひとめぼれ): 9月15~20日頃)</li> </ul>
10月	収穫	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>落水</b> 落水は、移植栽培に比べ7~10日遅くなる。(落水期(はえぬき・ひとめぼれ): 9月15~20日頃)</li> </ul>
10月	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>★<b>目標</b> 収量: 580kg/10a 品質: 1等米(整粒80%) 食味: (玄米タンパク含有率) 7.0%以下</li> </ul>



駆動式鎮圧機



灌水(フラッシング)



2回目の除草剤(クリンチャー)散布

